

パネル討論

福島の復旧復興の鍵と

放射線関連学術団体への期待

(第54回 アイソトープ・放射線研究発表会内「パネル討論」3)

東京電力福島第一原子力発電所事故発生からの約6年間で
行われた、復旧復興に向けた自治体の活動、および
放射線関連の学術団体の活動に基づく専門的知見を共有し、
現在の課題や今後の活動展開に対して、
専門家チームの連携も視野に入れて討論を行います。
ぜひご参加ください。

ご参加無料

詳細はコチラからもご覧頂けます



[日時] 2017年7月7日(金) 13:00～15:30

[会場] 東京大学弥生講堂一条ホール

(〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内)

[プログラム]

第Ⅰ部 特別講演

- ・被災地からの脱却を目指して
- ・低線量放射線に関する理解の混乱と
その克服のための挑戦

第Ⅱ部 学術団体が担う役割と今後の活動

- ・日本放射線安全管理学会
- ・日本保健物理学会
- ・日本放射線影響学会
- ・日本放射線化学会
- ・日本原子力学会

第Ⅲ部 総合討論

講師・パネリスト

- 遠藤 雄幸氏
(川内村村長)
- 宇野 賀津子氏
(レイ・パストゥール医学研究センター)
- 中島 覚氏
(広島大学／日本放射線安全管理学会)
- 床次 眞司氏
(弘前大学／日本保健物理学会)
- 松本 英樹氏
(福井大学／日本放射線影響学会)
- 勝村 庸介氏
(日本アイソトープ協会／日本放射線化学会)
- 井上 正氏
(電力中央研究所／日本原子力学会)

お問合せ

gakujutsu@jrias.or.jp

(日本アイソトープ協会学術課内アイソトープ・放射線研究発表会事務局)